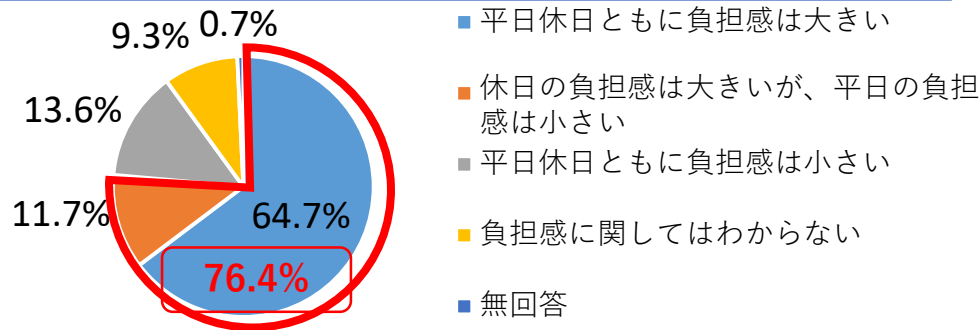


京都市学校部活動の現状及び部活動地域移行に関する調査結果【教員向け】（概要版）

日程：令和5年7月19日～8月4日
対象：中学・義務教育学校の主幹教諭・指導教諭・教諭・常勤講師等、約2,000名
回答数：1,358人（回答率69.9%）
内容：教員の部活動に関する意識や、休日の地域クラブでの指導を希望するか等を調査

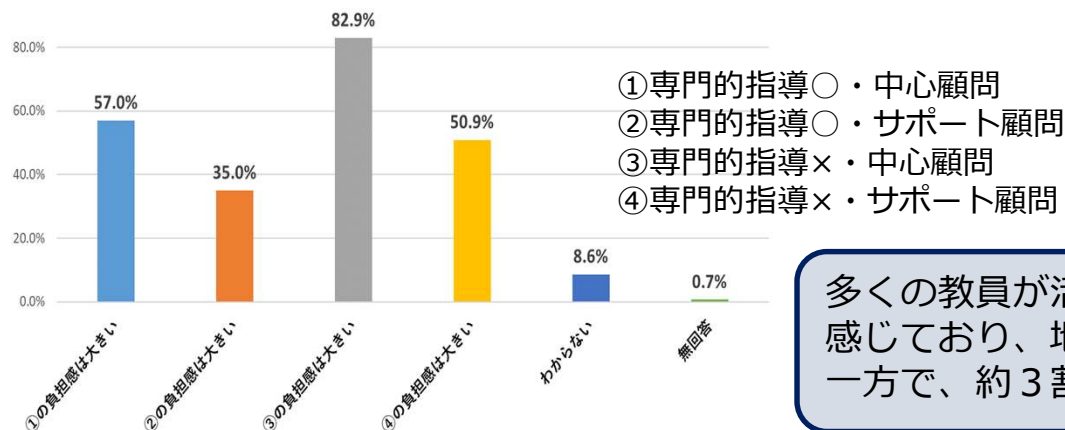
◆部活動の活動日に関する負担について

75%以上の教員が休日の負担が大きいと感じており、平日休日ともに負担に感じている教員も約65%いる



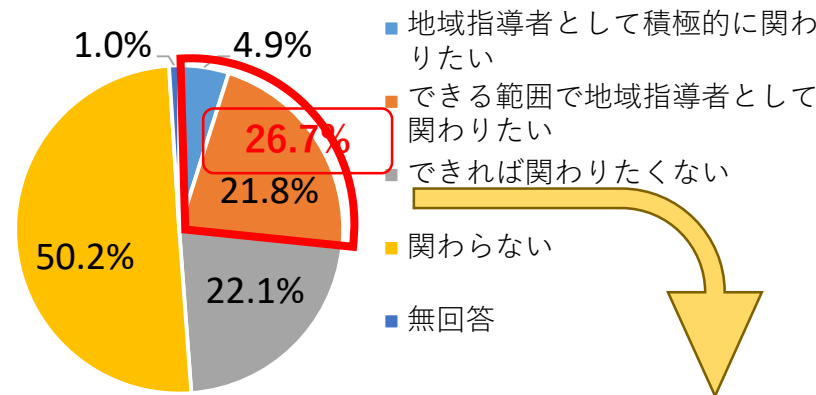
◆指導の専門性に関する負担について

専門的に指導できない種目において、中心の部活動の顧問を担う場合、8割以上の教員が負担に感じており、専門的に指導できる種目であっても、中心の顧問を担う場合、約6割の教員が負担に感じている。



◆現在地域クラブと関わりはないが、地域移行後、休日の指導者として関わる意向はあるか

7割以上の教員が「関わらない、できれば関わりたくない」と考えている一方で、3割近くの教員（※）が、今後指導に関わりたいと希望し、そのうち7割近くは勤務校の生徒を中心に休日も継続して指導できることを希望している
※すでに地域クラブと関わっている教員を含めると29.7%



指導希望	回答数	割合
勤務校の生徒を継続して指導希望	182	45.3%
勤務校又は隣接する中学校で指導希望	81	20.1%
対象生徒や地域に関わらず指導希望	67	16.7%
遠方は避けて地域で指導希望	64	15.9%
無回答	8	2.0%

多くの教員が活動日（平日・休日）や専門性に関わらず負担が大きいと感じており、地域移行後は、休日の指導は望んでいない。
一方で、約3割の教員は今後も休日に指導者として関わる意向がある。